

令和3年度 中学校「学習指導・評価計画表」教科【国語】学年【2年】担当者 渡部 貴英

知 知識・技能
思 思考・判断・表現
態 主体的に学習に取り組む態度

月	単元材	学習内容	観点	評価規準(B) おおむね満足	判断の基準 AとBの違いなど	評価方法 場面・時期
1 1	情報社会を生きる	メディアを比べよう メディアの特徴を生かして情報を集めよう	知	・情報と情報との関係の表し方を理解し使っている。	・情報と情報との関係のさまざまな表し方を深く理解し使っている。	ワークシート 定期テスト 観察 作文
			思	・「読むこと」において、目的に応じて情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、集めた材料を整理している。	・「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を深く解釈している。 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について理解している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、多様な方法で集めた材料を整理し書いている。	
			態	・観点を明確にして文章を比較し、学習課題に沿って目的や状況に応じたメディアの選び方を理解しようとしている。	・粘り強く観点を明確にして文章を比較し、学習課題に沿って目的や状況に応じたメディアの選び方を理解し深めようとしている。	
1 1	3 言葉と向き合う	短歌に親しむ 短歌を味わう [書く]短歌を作ろう	知	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。	ワークシート 定期テスト 観察 作文
			思	・「読むこと」において、短歌を比較するなどし、短歌の構成や表現の効果について考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことから自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫している。	・「読むこと」において、観点を明確にして短歌を比較するなどし、短歌の構成や表現の効果について考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが他の人に伝わる短歌になっている。	
			態	・短歌の構成や表現の効果について考え、短歌を創作しようとしている。	・進んで短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。	

1 1	言葉の力	知 思 態	<p>・本や文章などには、さまざまな立場や考え方方が書かれていることを知り、自分の考えを読書に生かしている。</p> <p>・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを持っている。</p> <p>・文章を読んで理解したことや考えたことと、今までの学習とをあわせて考えたことを伝え合おうとしている。</p>	<p>・本や文章などには、さまざまな立場や考え方方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。</p> <p>・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>・進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。</p>	ワークシート定期テスト観察
1 2	言葉を比べよう	知 思 態	<p>・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語彙を豊かにしている。</p> <p>・今までの学習を生かして、抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨こうとしている。</p>	<p>・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙をさらに豊かにしている。</p> <p>・今までの学習を生かして、積極的に抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感をさらに磨こうとしている。</p>	ワークシート定期テスト観察
1 2 人間のきず な	字のない葉書	知 思 態	<p>・本や文章などには、さまざまな立場や考え方方が書かれていることを知り、自分の考えをもち読書に生かしている。</p> <p>・「読むこと」において、観点を明確にして文章をよみ、文章の構成や表現の効果について考えている。</p> <p>・表現の効果について考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。</p>	<p>・本や文章などには、さまざまな立場や考え方方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。</p> <p>・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。</p> <p>・進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合えている。</p>	ワークシート定期テスト観察
1 2	聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す	知 思 態	<p>・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して、自分の考えをまとめている。</p> <p>・論理の展開に注意して聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出す質問をしようとしている。</p>	<p>・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づき深く理解できている。</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。</p> <p>・粘り強く論理の展開に注意して聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出す質問ができる。</p>	ワークシート観察

1	表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く [推敲]表現の効果を考える	知 思 態	<ul style="list-style-type: none"> 表現を考えながら手紙や電子メールを書いている。 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。 <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、根拠の適切さを考えて表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 「書くこと」において、読み手の立場に立って文章を整えている。 <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って通信手段を選び、通信文を書こうとしている。 文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現を工夫して手紙や電子メールが書いている。 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で的確に使っている。 <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整え書けている。 <ul style="list-style-type: none"> 積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って通信手段を選び、通信文を書こうとしている。 粘り強く文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。 	ワークシート 観察
1	言葉2 敬語	知 態	<ul style="list-style-type: none"> 敬語の働きについて理解し、いる。 <ul style="list-style-type: none"> 今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。 <ul style="list-style-type: none"> 今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。また日常生活に結びつけようとしている。 	ワークシート 定期テスト 観察
1	漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3	知 態	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字が理解できている。 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <ul style="list-style-type: none"> 学習課題に沿って、同音異義語を理解し、漢字を読んだり書いたりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <ul style="list-style-type: none"> 学習課題に沿って、積極的に同音異義語を理解し、漢字を読んだり書いたりしようとしている。 	ワークシート 定期テスト 観察
1	論理を捉えて	知	<ul style="list-style-type: none"> 意見と根拠の情報との関係について理解している。意見がどのような根拠によって支えられているかを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。意見がどのような根拠によって支えられているかを理解し、その根拠が適切かを吟味している。 	ワークシート 定期テスト 観察

		モアイは語る	思	・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開について考えている。意見と根拠の結び付きや論の進め方を吟味している。	・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開について考えている。文章全体の構成を捉え、意見と根拠の結び付きや論の進め方を吟味している。	
			態	・論理の展開について考え、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。	・粘り強く論理の展開について考え、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。	
2		漢字に親しもう4	知	第1学年までに学習した常用漢字に加えその他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	第1学年までに学習した常用漢字に加えその他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。そして、文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。	ワークシート定期テスト観察
			態	学習課題に沿って、漢字を読んだり書いたりしようとしている。	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
2	いにしえの心を訪ねる	扇の的「平家物語」	知	・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 ・扇の的を射落とした後の人々の反応に着目し、古人のものとの見方や考え方を捉えている。	・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。古典の文章独特的調子やリズムを意識して朗読している。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 ・与一や義経の言動、扇の的を射落とした後の人々の反応に着目し古人のものの見方や考え方を捉えている。	ワークシート定期テスト観察
			思	・「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。「弓流し」の場面においても作品を読み深めている。	・「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて深く考えて、内容を解釈している。「扇の的」での与一の言動や「弓流し」の場面での義経の言動の意味について考え、作品を読み深めている。	

			態	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合っている。 	
2	仁和寺にある法師「徒然草」から		知	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。現代語訳や語注などを手掛けりにして法師の言動やそれに対する作者のものの見方、考え方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ・古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読している。 ・現代語訳や語注などを手掛けりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 ・現代語訳や語注などを手掛けりにして、法師の言動やそれに対する作者のものの見方、考え方を深く理解している。 	ワークシート 定期テスト 観察 作文
			思	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、伝えたいことが伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 ・文章の構成を工夫して、古典の登場人物についての文章を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 ・文章の構成を工夫して、古典の登場人物について論じる文章を書いている。 	
			態	<ul style="list-style-type: none"> ・考えたことを知識や経験と結び付け、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に考えたことを知識や経験と結び付け、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書いている。 	
2			知	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ・漢文の音などを意識して朗読している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しみ理解している。 ・漢文特有の言葉遣いや調子を意識して朗読している。 	ワークシート 定期テスト 観察

ワークシート
定期テスト
観察
作文

3	表現を見つめる	走れメロス	<p>知</p> <ul style="list-style-type: none"> 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 作品中の漢語を和語に置き換えると、印象がどのように変わるかを考えられている。
			<p>思</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 「メロス」の行動や考え方で共感できたところ・できなかったところを、自分の知識や経験と結び付けて考えている。 「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 登場人物の人物像や表現のしかたなど、観点を明確にして作品の魅力を文章にまとめている。
			<p>態</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の言動の意味などについて考え、学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く登場人物の言動の意味などについて考え、学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめている。
